

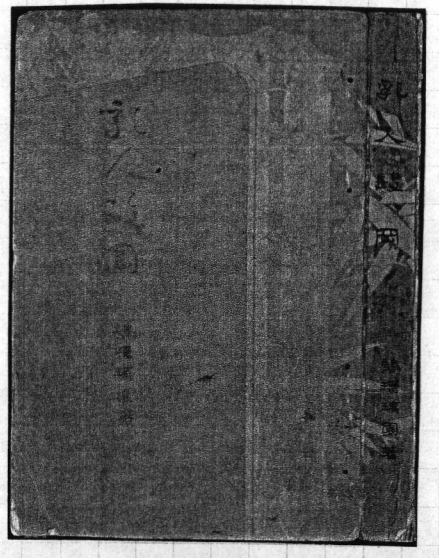
渡邊霞亭 （號） 小説家。元治元年十一月二十日尾張國生乳、大正五年四月七日歿（八四—九五）。本名勝、幼名申子大郎。筆名おすめ、おすめのや主人、先春居士、先春寓主人、匿名子、匿名氏、哉也、哉乎翁、哉葛、少霞、彩帆樓、影法師、春帆樓主人、朝霞、朝霞隱士、木母庵、正流漁夫、江上朝霞、流霞、渡邊朝霞、渡邊正流、渡邊霞亭主人、渡部正流、無名子、無名氏、王孫樹庵、破笠庵正流、破笠樓正流、破芽樓、破管樓正流、破萱庵正流、碧瑠璃園、竹園、竹園生、箕田勝、箕輪勝、綠園、綠園生、華隆子、霞の家、霞の家主人、霞亭、霞亭主人、霞亭生、霞亭老人、霞生、風哉、聖法師等。明治二十二年「大阪朝日新聞」入社、翌年曲村大因等と雜誌「おははがた」創刊。爾來劇曲文壇に重きを爲し、有数の多作家。

著書 「國會會議事堂建築論」（箕輪勝名、明治十七年六月開成社）、「（新）西郷隆盛君之傳」（内題「（維新元勳）西郷隆盛君傳」渡邊朝霞名、明治二十二年八月十日文事堂）、「思の種」（明治二十二年五月二十一日二友舎）、「秋の戸」（霞亭主人名、明治二十四年十月二十日大阪・圖書出版會社）、「引鶴」（同、明治二十五年五月四日大阪・圖書出版會社）、「渡邊華山」（明治二十二年五月十日博文館「少年讀本」）、

「想主人傳」（聖法師名、明治二十七年二月四日今古堂書店）、「白梅紅梅」（春帆樓主人名、明治四十年五月十七日隆文館）、

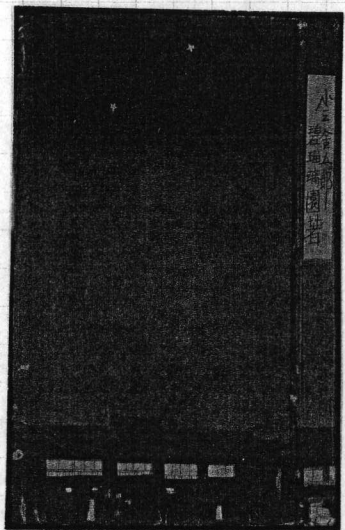


「乳人政岡」全
二册（碧瑠璃園）



名、上卷・明治四十一年七月十一日、後篇・四十一年二月五日梁江
堂）、『木村長門守』（縁園生名、明治四十一年九月十日金屋文淵堂
館）、「縁園叢書」）、『後藤又兵衛』（同、明治四十一年十一月五日隆文
館）、「武士道小説叢書」）、『白河樂翁』全二冊（碧瑠璃園名、前編・
明治四十一年七月四日、後編・四十一年一月一日至誠堂書店）、『高
山彦九郎（前編）』（同、明治四十一年六月十五日至誠堂書店）、『義
兄弟（附録蓬萊島）』（縁園生名、明治四十一年六月）、「十日隆文館
」、「武士道小説叢書」）、『（赤穂四十）（七士之内）（堀部安兵衛）』全二冊（碧瑠璃
園名、前編・明治四十一年八月）、「十日、續編・十一月、二十日隆文館）、
『曾我兄弟』（同、京山小圓口演、明治四十一年九月）、「二十六日大阪・
興風書院）、『金原明善翁』（同、明治四十一年十一月）、「二十四日愛知
・興風書院」、『興風叢書』）、『鹽原多助』全二冊（同、前編・明治四
十四年二月七日、後編・十月）、「十日弘學館書店・後興風書院）、『實
朝顔日記』（同、明治四十一年二月十五日大書閣書樓）、『豐臣秀吉
・藤吉郎の巻』（縁園生名、明治四十一年十一月）、「二十日東亞堂書
房）、『孝佛法吉』（碧瑠璃園名、明治四十五年一月）、「二十日岐阜・
岐阜縣竹ヶ鼻町教育會）、『大世界（秘傳）美人探檢』（黑法師名、明治四十
五年一月）、「二十八日東亞堂書店）、『山鹿素行』（碧瑠璃園名、大正元
年十一月）、「二十八日東亞堂書店）、『由比正雪・後編』（同、大正二年
九月十日東亞堂書店）、『日本編神武子大黑天』（同、大正二年十月十一日
日興風書院）、『赤埴源藏』（同、大正二年七月）、「二十八日養賢堂）、
『聖注教祖一代記』（大正二年四月一日武田富藏大久保、大正・宗徳書
院）、『奥村五百子』（碧瑠璃園名、大正四年九月十日大阪・霞亭

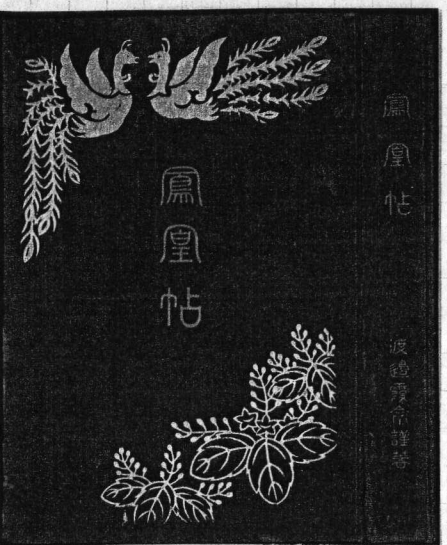
會)、「中山大納言」全二冊(同、前・大正五年二月)二十五日、後・六月二十五日(金澤文淵堂)、「高野長英」(同、大正六年一月)日東亞堂書房)、「龍卷」全二冊(前篇・大正六年八月十五日、後篇・八月十日實業之日本社)、「乃木大將」(碧瑠璃園名、大正六年十月)十日霞亭會出版部「碧瑠璃園傑作叢書」)、高島平三郎「孝子物語」(編述、大正六年十月二十一日自學獎勵會「家庭自學文庫」)、「大野犀利兵衛」(碧瑠璃園名、大正六年十一月二十五日霞亭會出版部)、「光秀の妻」(同、大正七年六月)二十五日大鏡閣)、「乳人政岡」(同、大正七年十二月)二十一日霞亭會出版部「碧瑠璃園傑作叢書」)、「殘月」(大正八年七月五日)三友社)、「小金五郎」(碧瑠璃園名、大正八年七月二十日霞亭會出版部、大鏡閣發賣)、「由比正重(前編)」(同、大正八年九月五日)霞亭會出版部、大鏡閣發賣「碧瑠璃園傑作叢書」)、「義民坊倉京五郎」(同、大正九年一月一日大鏡閣)、「二天勅語實踐資料」(再版・大正九年十二月二十五日教育勸進實踐會)、「聖德太子」(內題「聖德皇太子」碧瑠璃園名、大正十年九月十五日霞亭會出版部、大鏡閣發賣)、「偉人の幼年時代」(同、第六編・大正十一年二月二十日大鏡閣、第一編・五月)二十五日大鏡閣、第十編・六月十五日霞亭會出版部・大鏡閣發賣、第十一編・九月十五日霞亭會出版部、大鏡閣、第十七編・十一月)二十日霞亭會出版部・大鏡閣發賣、第五編・十二月十五日大鏡閣、第廿一編・十二年一月十五日大鏡閣、第廿一編・二十五日大鏡閣)、



『赤埴源藏』(同、大正十一年五月十日霞亭會出版部、大鏡閣「仇討叢書」)、『青空』(大正十一年九月)二十八日子成會、拓殖新報社)、

『大楠八夫人』(碧瑠璃園名、大正十一年一月)二十日大鏡閣)、『英雄少年時代・第一編』(同、大正十一年四月十五日大鏡閣)、『迷信の

家』(大正十二年十月八日大阪・教育實踐會)、『鳳凰帖』(大正十



二年十一月一日大阪・關西婦人新聞社出版部)、『雛鶴』(綠園生名、大正十二年七月)二十日大阪・榎本書店)、『春の芽含』(大正十四年一月五日大阪榎本書店・進文堂)、『大楠八夫人』(碧瑠璃園名、高橋淡水

共著、五版、大正十四年五月十一日楠枇會館出版部、大阪四條畷神社々務所)、『木下藤生郎』(同、大正十四年七月)二十八日大鏡閣「碧瑠

璃園傑作叢書」)、『豐太郎』(同、

大正十五年一月)二十五日大鏡閣「碧

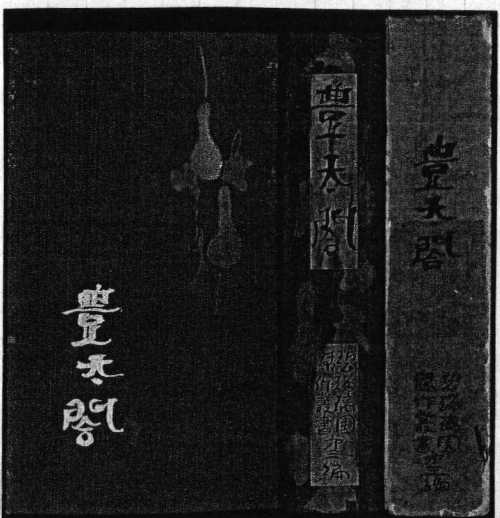
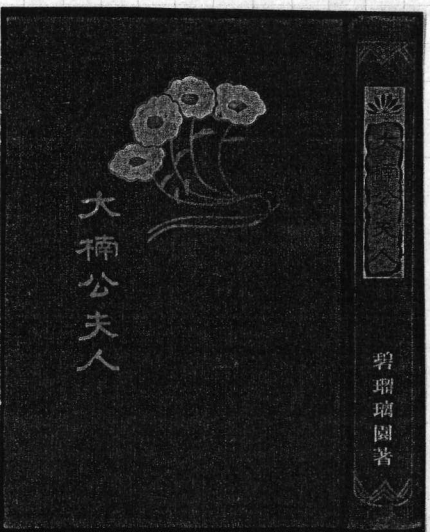
瑠璃園傑作叢書」)、『大楠公と其

夫人』(同、大正十五年五月)二十日

大鏡閣「碧瑠璃園傑作叢書」)、『井

伊大老』(同、大正十五年十月十八

日大鏡閣・大阪會出版部)、『物



諸日本史・佛教傳來の巻』(同、大正十五年十月) 千五百大鏡閣)、
『雛鶴』(昭和二年五月十五日大阪・新興社)、『碧瑠璃園全集』(第
四卷)、『二宮會徳』(昭和五年一月十五日、第一卷)、『高野長英』(六月十日
碧瑠璃園全集刊行會)、『魂のとびら』(昭和五年五月五日大阪・前
田人文館)、『碧瑠璃園傑作叢書』(『二宮會徳』、『吉田松陰』、
『水戸黃門・初旅の巻』、『水戸黃門・五代將軍の巻』各昭和六年十
月)、『千白大阪・碧瑠璃園傑作全集刊行會)、『心のとびら』(昭和七
年六月)、『千白大阪・忠文館書店)、『渦巻』(昭和九年十一月五日中
央公論社)、『日本近世大悲劇名作全集』(『貞原益軒』(昭和十年十
月)、『千白大阪・巧人社)、『渦巻』全二册(前編、後編・昭和) 千二
年六月)、『千白大阪・渦巻刊行會)等。